Health

健康サポート

【問合先】 桂川町健康福祉課 健康推進係 ☎65.0001

盤ゆ竈を予防しよう!

予防のために宏伽なのは邪鈴補給

■みんなで声をかけ合ってこまめに水分補給を!

水分補給の基本はお茶や水です。運動をするときなど、大量に汗をかくとき等にスポーツ飲料等を利用し ましょう。アルコールには体の中の水分を体の外に出す働きがあるため、水分補給に向いていません。ジュー スの飲みすぎも、糖分の取りすぎにつながってしまいます。



お茶・水 必要に応じて スポーツ飲料



水分摂取に向かない飲み物





■一日にどのくらいの水分を摂取したら良いの?

一日に必要な水分摂取量の目安は1.5~2Lです。「のどが渇いた」と感じた時にはすでに脱水状態となっ ています。起床時、外出前、運動中とその前後、入浴前後、就寝前など、こまめに水分補給しましょう。

◆特に注意!高齢者や子どもの熱中症◆

高齢者は、「暑さ」や「喉の渇き」を感じにくくなることや、体温調節機能が低下することなどから熱中症に かかりやすくなります。また、体温調節機能が未熟な思春期まえの子どもも熱中症にかかりやすく特に注意 が必要です。

【熱中症予防のポイント】



高齢者

- ○のどが渇かなくても水分補給
- ○部屋の温度をこまめに測る
- ○1日1回は汗をかく運動をして体力づ くりを心掛ける

子ども ~保護者や周りの大人 ○喉が渇いたときに自由に水分補給でき ができること~

- ○顔色や汗のかきかたを観察し、顔が赤 い、ひどく汗をかいている場合は涼し い場所で休憩させる
- るようにする、状況に応じて水分補給 タイムを設ける

